



都内企業の景況感

—第112回企業動向調査結果 平成24年6月実施—



◎ 都内の中小企業の景況は回復しつつあり、先行きも改善が続く見通し。

1. 都内中小企業の景況は、個人消費の持ち直しなどを背景に回復しつつあり、自社業況判断DI*は前回の-2.3から今回2.4(前回予想-1.7)と、4.7ポイント上昇しプラスに転じた。先行きについても改善し、同DI*は11.1となる見通し。
2. 売上高DI*は、前回の-5.0から今回6.4(前回予想-2.4)に11.4ポイント、経常利益DI*は、-10.0から1.7(前回予想-6.4)へ11.7ポイントそれぞれ上昇し、プラスとなった。先行きについては、両DI*ともに上昇する見通し。
3. 価格DIを見ると、販売価格DIは今回-13.5に上昇、仕入れ価格DIは、12.1に低下した。先行きは、販売価格DI、仕入れ価格DIともに低下する見通し。
4. 資金需要DIをみると、設備資金需要DI*は、今回-3.0と前回の-2.6から低下、運転資金需要DI*は前回の7.8から今回5.1へと低下した。先行きは、両DI*とも上昇する見通し。
5. 金融機関借入難易感DIは、今回19.2と2.8ポイント上昇し緩和感が拡大、資金繰りDIは、今回3.2と2.4ポイント改善した。
6. 経営上の問題点では、「同業他社との競合」がシェアを17.8%に高めて、前回の2位から第1位となった。第2位は、前回1位の「売上不振」で15.9%とシェアを低めた。第3位は前回と同じく「人材難」で11.2%となった。第4位は、前回5位の「原材料仕入品価格高」で9.9%とほぼ横ばい、第5位は、前回4位の「取引先からの値引き要請」で9.8%とシェアを低めた。第6位は前回7位の「円相場の変動」で6.2%とシェアを高めた。

(景気指標 DI)	前回	⇒	今回	⇒	先行き
自社業況判断 DI*	-2.3	⇒	2.4	⇒	11.1
売上高 DI*	-5.0	⇒	6.4	⇒	8.9
経常利益 DI*	-10.0	⇒	1.7	⇒	3.9
販売価格 DI	-15.0	⇒	-13.5	⇒	-15.3
仕入れ価格 DI	13.7	⇒	12.1	⇒	6.7
製商品在庫 DI*	-13.2	⇒	-10.3	⇒	...
設備資金需要 DI*	-2.6	⇒	-3.0	⇒	2.4
運転資金需要 DI*	7.8	⇒	5.1	⇒	5.8
金融機関借入難易感 DI	16.4	⇒	19.2	⇒	...
資金繰り DI	0.8	⇒	3.2	⇒	...
(経営上の問題点)	(前回%)		(今回%)		
同業他社との競合	16.4	⇒	17.8		
売上不振	16.6	⇒	15.9		
人材難	11.7	⇒	11.2		
原材料高・仕入価格高	9.5	⇒	9.9		
取引先からの値引き要請	10.3	⇒	9.8		
円相場変動	5.6	⇒	6.2		

1. DI値は、アンケート回答総数を100%とした場合の、「好転」又は「増加」企業割合から「悪化」又は「減少」企業割合を差し引いた数値です。
 2. 天気図は、自社業況判断、売上げ、経常利益、設備資金需要の4指標の平均値(前回 -5.0、今回 1.9、先行き 6.6)で判断したものの、前回は「うす曇り」、今回は「晴れ時々曇り」、先行きは「晴れ時々曇り」。
 3. 季節調整済みの指標には、*マークを添付。原数値の指標にはマークなし。 4. 「先行き」、「見通し」は、今後6ヶ月間の見通し。